

日本介護医療院協会「2025年度調査」全体集計まとめ

実施：令和7（2025）年6月

対象：介護医療院 763 施設（会員 313 施設および非会員 450 施設）

回答：156 施設（会員 104 施設、非会員 52 施設）

回答率：20.4%（療養床数計 11,367 床）

1. 概要

（1）療養床総数

	全体		Ⅰ型		Ⅱ型		混合型	
		うち、ユニット型		うち、ユニット型		うち、ユニット型		うち、ユニット型
回答施設数	156	6	110	4	44	2	2	0
療養床総数（床）	11,367	289	8,812	122	2,398	167	157	0
平均（床）	72.9	48.2	80.1	30.5	54.5	83.5	78.5	—

（2）入所者数と稼働率 ※2025年7月1日24時現在の入所者数÷療養床総数×100

	全体	Ⅰ型	Ⅱ型	混合型
回答施設数	156	110	44	2
入所者数（人）	10,465	8,080	2,238	147
療養床数（床）	11,367	8,812	2,398	157
稼働率（%）	92.1	91.7	93.3	93.6

（3）開設場所（n=152 施設）

（施設数）

	全体	Ⅰ型	Ⅱ型	混合型
回答施設数	152	108	42	2
1. 病院建物内併設	125	96	27	2
2. 病院敷地内併設	13	5	8	0
3. 独立	10	6	4	0
4. その他	4	1	3	0

比率（%）

	全体	Ⅰ型	Ⅱ型	混合型
回答施設数	152	108	42	2
1. 病院建物内併設	82.2	88.9	64.3	100.0
2. 病院敷地内併設	8.6	4.6	19.0	0.0
3. 独立	6.6	5.6	9.5	0.0
4. その他	2.6	0.9	7.1	0.0

* 「4. その他」：病院前の道路を挟んで向かい、診療所併設、病院から介護医療院へ機能転換

(4) 介護医療院の療養床について、移行する前の施設種別（n＝156 施設）

（病床数）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答病床数	11,367	8,812	2,398	157
1. 介護療養病床	7,650	7,194	402	54
2. 介護療養診療所	0	0	0	0
3. 医療療養病棟 1	832	645	154	33
4. 医療療養病棟 2	780	327	453	0
5. 医療療養病棟 経過措置	82	52	30	0
6. 医療療養診療所	31	16	15	0
7. 老人性認知症疾患療養病棟	0	0	0	0
8. 介護療養型老人保健施設	720	190	530	0
9. 一般病床から（介護・医療療養病床以外の病床から）	132	91	41	0
10. その他のベッドから（従来型老人保健施設等から）	672	29	623	20
11. 新設（新規開設）	277	224	53	0
12. 上記以外	191	44	97	50

比率（％）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答病床数	11,367	8,812	2,398	157
1. 介護療養病床	67.3	81.6	16.8	34.4
2. 介護療養診療所	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 医療療養病棟 1	7.3	7.3	6.4	21.0
4. 医療療養病棟 2	6.9	3.7	18.9	0.0
5. 医療療養病棟 経過措置	0.7	0.6	1.3	0.0
6. 医療療養診療所	0.3	0.2	0.6	0.0
7. 老人性認知症疾患療養病棟	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 介護療養型老人保健施設	6.3	2.2	22.1	0.0
9. 一般病床から（介護・医療療養病床以外の病床から）	1.2	1.0	1.7	0.0
10. その他のベッドから（従来型老人保健施設等から）	5.9	0.3	26.0	12.7
11. 新設（新規開設）	2.4	2.5	2.2	0.0
12. 上記以外	1.7	0.5	4.0	31.8

2. 新入所者数と入所経路（2025 年 4 月～6 月までの 3 か月間）（n=149 施設）

※回復期リハ、地域包括ケア、急性期等（加算含む）の「在宅復帰率」が要件化されている病棟は、「在宅復帰系病棟」としてまとめている。（※「在宅復帰機能強化加算」を算定している療養病棟は含めない）

（新入所者数）

	全体	I 型	II 型	混合型
2025 年 4 月から 6 月までの 3 か月間における新入所者総数	2,422	1,948	426	48
1. 自宅から	145	122	21	2
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）から	106	84	17	5
3. 老人保健施設から	51	39	10	2
4. 自院の在宅復帰系病棟から	495	357	121	17
5. 自院の上記以外の病棟から	501	437	60	4
6. 他院の在宅復帰系の病棟から	404	305	81	18
7. 他院の上記以外の病棟から	700	590	110	0
8. その他	20	14	6	0

比率（％）

	全体	I 型	II 型	混合型
2025 年 4 月から 6 月までの 3 か月間における新入所者総数	2,422	1,948	426	48
1. 自宅から	6.0	6.3	4.9	4.2
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）から	4.4	4.3	4.0	10.4
3. 老人保健施設から	2.1	2.0	2.3	4.2
4. 自院の在宅復帰系病棟から	20.4	18.3	28.4	35.4
5. 自院の上記以外の病棟から	20.7	22.4	14.1	8.3
6. 他院の在宅復帰系の病棟から	16.7	15.7	19.0	37.5
7. 他院の上記以外の病棟から	28.9	30.3	25.8	0.0
8. その他	0.8	0.7	1.4	0.0

3. 退所者数と退所先（2025 年 4 月～6 月までの 3 か月間）（n＝148 施設）

※回復期リハ、地域包括ケア、急性期の病棟は、「在宅復帰系」としてまとめている。

（退所者数）

	全体	I 型	II 型	病院建物内併設 病院敷地内併設	独立	その他	混合型
2025 年 4 月から 6 月までの 3 か月間における退所者総数	2, 254	1, 796	412	310	74	28	46
1. 自宅へ	152	130	21	18	1	2	1
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）へ	174	144	27	23	1	3	3
3. 老人保健施設へ	93	71	22	22	0	0	0
4. 自院の在宅復帰系病棟へ	74	56	12	12	0	0	6
5. 自院の上記以外の病棟へ	292	241	40	40	0	0	11
6. 他院の在宅復帰系病棟へ	54	26	23	7	13	3	5
7. 他院の上記以外の病棟へ	162	126	35	20	14	1	1
8. 死亡退所	1, 235	994	222	158	45	19	19
9. その他	18	8	10	10	0	0	0

比率（％）

	全体	I 型	II 型	病院建物内併設 病院敷地内併設	独立	その他	混合型
2025 年 4 月から 6 月までの 3 か月間における退所者総数	2, 254	1, 796	412	310	74	28	46
1. 自宅へ	6. 7	7. 2	5. 1	5. 8	1. 4	7. 1	2. 2
2. 自宅系高齢者施設（有料老人ホーム・特養等）へ	7. 7	8. 0	6. 6	7. 4	1. 4	10. 7	6. 5
3. 老人保健施設へ	4. 1	4. 0	5. 3	7. 1	0. 0	0. 0	0. 0
4. 自院の在宅復帰系病棟へ	3. 3	3. 1	2. 9	3. 9	0. 0	0. 0	13. 0
5. 自院の上記以外の病棟へ	13. 0	13. 4	9. 7	12. 9	0. 0	0. 0	23. 9
6. 他院の在宅復帰系病棟へ	2. 4	1. 4	5. 6	2. 3	17. 6	10. 7	10. 9
7. 他院の上記以外の病棟へ	7. 2	7. 0	8. 5	6. 5	18. 9	3. 6	2. 2
8. 死亡退所	54. 8	55. 3	53. 9	51. 0	60. 8	67. 9	41. 3
9. その他	0. 8	0. 4	2. 4	3. 2	0. 0	0. 0	0. 0

4. 介護医療院における急性期病院からの受け入れについて

(1) 2024年4月1日～2025年3月31日（１年間）に急性期病院（併設の病院を除く）から新規に入所した入所者の人数と要介護度の状況

	入所者数	比率（％）
2024年4月1日～2025年3月31日（１年間）に急性期病院（併設の病院を除く）から新規に入所した利用者の人数（※１）	2,579	100.0
①未認定又は要支援１又は要支援２（要介護認定を申請中）	119	4.6
②要介護度１	126	4.9
③要介護度２	184	7.1
④要介護度３	382	14.8
⑤要介護度４	814	31.6
⑥要介護度５	954	37.0

※１ 過去に貴介護医療院に入所されていて、急性期病院等に入院した後に、再度、貴介護医療院に入所された利用者は除く。

(2) 上記（１）で要介護度が「未認定又は要支援１又は要支援２」「要介護度１」「要介護度２」の入所者のうち、入所時において「認定されている要介護度」と「実際の利用者の状態」にギャップがあった入所者（※２）

	入所者数	
「未認定又は要支援１又は要支援２（要介護認定を申請中）」「要介護度１」「要介護度２」の入所者	429	
うち、入所時において「認定されている要介護度」と「実際の利用者の状態」にギャップがあった入所者（※）	221	51.5%

※２ 例えば、入所時には要介護度１の認定がされていたが、実際の状態は要介護度４、５に相当し、「想定される以上のケアが必要であった入所者」や「想定される医療行為を超えた医療行為が必要となった入所者」など。

5. 協力医療機関との連携体制の構築について

(1) 2025 年 7 月 1 日時点で協力医療機関を定めていますか。(n = 156 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 定めている	153	98.1
2. 定めていない	0	0.0
3. 交渉中または検討中	3	1.9

(2) 上記 (1) で協力医療機関を「1. 定めている」と回答した事業所に①～⑦お伺いします。

①協力医療機関は法人内医療機関ですか。(n = 153 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 併存・敷地内法人内医療機関である	109	71.2
2. 敷地外法人内医療機関である	8	5.2
3. 他法人の医療機関である	36	23.5

②協力医療機関の病院の機能はどれですか。(複数回答可) (n = 153 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 急性期病院である	56	36.6
2. 回復期、慢性期病院である	84	54.9
3. 急性期、慢性期両方 (2 病院) 以上と契約している	22	14.4
4. その他	15	9.8

③2024 年 6 月以降、協力医療機関からの急変時の往診の例はありますか。(n = 152 施設)

	施設数	比率 (%)
1. ある	31	20.4
2. ない	121	79.6

④2024 年 6 月以降、協力医療機関に緊急転院をした例はありますか。(n = 150 施設)

	施設数	比率 (%)
1. ある	70	46.7
2. ない	80	53.3

⑤2024 年 6 月以降、協力医療機関に診療を断られた例がありますか。(n = 152 施設)

	施設数	比率 (%)
1. ある	5	3.3
2. ない	147	96.7

⑥協力医療機関との月に1回のカンファレンスは、どのように開催されていますか。(n=145 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 主に訪問（どちらかの病院へ）している	84	57.9
2. 主に WEB 開催している	12	8.3
3. その他	49	33.8

⑦協力医療機関連携加算を算定していますか。(n=147 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 協力医療機関の3要件①～③（※）を満たす場合（50 単位/月）を算定している	97	66.0
2. 上記1以外の場合（5 単位/月）を算定している	1	0.7
3. 算定していない	49	33.3

協力医療機関の3要件：①常時相談対応を行う体制

②常時診療を行う体制

③入所者の入院を原則として受け入れる体制

* 協力医療機関連携加算を算定していない理由（複数回答可）(n=44 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 常時相談対応を行う体制が整わない	4	9.1
2. 常時診療を行う体制が整わない	5	11.4
3. 入所者の入院を原則として受け入れる体制が整わない	7	15.9
4. 定期的な会議を行う体制が整わない	22	50.0
5. その他	17	38.6

* 「5. その他」：同法人内で、同フロアーにあるため算定できない。

算定要件の病床との連携ではないため。

病院併設のため。

町立病院・施設であり、特別な関係であるため。

地域包括ケア病棟がないため。

急変患者が少なく、入院を依頼するようなこともほとんどない。

医師が24時間体制医で勤務しており、看取り対応が大半のため、現状としての必要性がない。

ご家族の同意が得られていないため。

今後、算定する予定。

6. ターミナルケアカンファレンス（意思確認カンファレンス（仮称））について

（2025 年 4 月～ 6 月までの 3 か月間）

- （1）ターミナルケアに係る計画を作成するための入所者・家族等の同意を得るための
「介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス」の開催

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	119	82	36	1
3 か月間の実入所者数	7,701	5,787	1,602	312
開催した入所者数	1,887	1,532	324	31
開催延べ回数	2,340	1,962	347	31

※「介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス」には、本人の参加、不参加どちらも含む。

※本人の意思がはっきりしない場合は、家族、書面（事前指示書）、職員、代理人（家族以外の第三者）で意思を想定したものをカウントする。

- （2）上記（1）の「介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス」の開催のうち、本人が参加し、意思を表明した「本来の ACP・人生会議」カンファレンスの開催回数

	施設数	開催延べ回数	
（1）介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス	109	2,340	
（1）のうち、本人が参加し、意思を表明したカンファレンス（ACP）	12	60	2.6%

- （3）上記（1）の「介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス」を開催した入所者数のうち、介護医療院入所前に ACP を実施していた入所者数、介護医療院入所前に事前指示書等を持参していた入所者数

	施設数	開催した入所者数	
（1）介護医療院の施設基準に合ったカンファレンス	109	1,887	
（1）のうち、介護医療院入所前に ACP を実施していた入所者数	26	236	12.5%
（1）のうち、介護医療院入所前に事前指示書等を持参していた入所者数	21	221	11.7%

※事前指示書等とは、「本人が自らの意思で作成した、あるいは、本人の意思が示された文書」を言う。

※DNAR 同意書（心肺蘇生を行わないことに関する同意書）の場合、本人の意思が示されたものであれば、ここで言う事前指示書等に含まれる（家族による DNAR 同意書は含まれない）。

7. 入所者の要介護度について（2025 年 7 月 1 日現在の状態）（n=156 施設）

（施設数）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答入所者数	10,468	8,092	2,232	144
要介護 5	4,636	3,832	754	50
要介護 4	4,132	3,248	834	50
要介護 3	1,016	658	327	31
要介護 2	388	194	185	9
要介護 1	206	105	100	1
申請・区分変更等、未確定	90	55	32	3

比率（％）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答入所者数	10,468	8,092	2,232	144
要介護 5	44.3	47.4	33.8	34.7
要介護 4	39.5	40.1	37.4	34.7
要介護 3	9.7	8.1	14.7	21.5
要介護 2	3.7	2.4	8.3	6.3
要介護 1	2.0	1.3	4.5	0.7
申請・区分変更等、未確定	0.9	0.7	1.4	2.1

* 平均要介護度

	全体	I 型	II 型	混合型
平均要介護度	4.21	4.31	3.89	3.99

6. 2025 年 5 月の介護保険算定単価（1 人/日）（n=129 施設）

※月の入所に関する介護保険収入を入所者延べ数で除した金額

	全体	I 型	II 型
回答施設数	129	93	36
介護保険算定単価 平均（1 人/日）	15,042	15,871	12,901

8. LIFE の活用が要件として含まれる加算の算定状況について（2025 年 5 月）（n = 156 施設）

	算定 施設数	回答施設 に占める 比率（％）	算定施設における 件数（平均） （100 床換算）	算定施設における 延べ回数（平均） （100 床換算）
1-1. 科学的介護推進体制加算Ⅰ	30	19.2	96	96
1-2. 科学的介護推進体制加算Ⅱ	73	46.8	97	147
2. 理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	91	58.3	84	157
3. 褥瘡対策指導管理Ⅱ （ⅠはLIFE提出不要）	81	51.9	90	178
4-1. 排泄支援加算Ⅰ	48	30.8	90	90
4-2. 排泄支援加算Ⅱ	18	11.5	17	17
4-3. 排泄支援加算Ⅲ	5	3.2	5	5
5. 自立支援促進加算	29	18.6	95	95
6. 薬剤管理指導	22	14.1	39	74
7. 栄養マネジメント強化加算	76	48.7	98	2,988
8. 口腔衛生管理加算Ⅱ	64	41.0	71	79

9. 「自立支援促進に関する評価・支援計画書」における「尊厳の保持に資する取り組み」の実施状況について
「尊厳の保持に資する取り組み」の実施状況（５段階評価）

（施設数）

	回答 施設数	5. よく できている	4. でき ている	3. 普通	2. あま りでき ていない	1. でき ていない	平均点
1. 身体拘束ゼロへの取り組み	154	66	62	20	5	1	4.2
2. 手荒い介護をしない	154	52	74	27	0	1	4.1
3. 生理現象を放置・我慢させない	154	36	70	45	3	0	3.9
4. 子ども扱いしない	154	39	75	38	2	0	4.0
5. いじわるしない	154	77	61	15	0	1	4.4
6. プライバシーの保護	154	49	58	43	4	0	4.0
7. 選挙権の行使	153	65	43	25	6	14	3.9
8. お金の管理	146	50	27	38	6	25	3.5
9. 人生の最終段階における医療・ケアに本人 が参加し、本人の意思を確認している（ACP）	153	11	25	44	44	29	2.6
10. 本人が意思を表出できないときに、代 理人を決めている	154	72	47	25	6	4	4.1
11. 本人が参加できないので、家族や代理 人と本人の意思を推測している	154	66	56	30	2	0	4.2

比率（％）

	回答 施設数	5. よく できている	4. でき ている	3. 普通	2. あま りでき ていない	1. でき ていない	平均点
1. 身体拘束ゼロへの取り組み	154	42.9	40.3	13.0	3.2	0.6	4.2
2. 手荒い介護をしない	154	33.8	48.1	17.5	0.0	0.6	4.1
3. 生理現象を放置・我慢させない	154	23.4	45.5	29.2	1.9	0.0	3.9
4. 子ども扱いしない	154	25.3	48.7	24.7	1.3	0.0	4.0
5. いじわるしない	154	50.0	39.6	9.7	0.0	0.6	4.4
6. プライバシーの保護	154	31.8	37.7	27.9	2.6	0.0	4.0
7. 選挙権の行使	153	42.5	28.1	16.3	3.9	9.2	3.9
8. お金の管理	146	34.2	18.5	26.0	4.1	17.1	3.5
9. 人生の最終段階における医療・ケアに本人 が参加し、本人の意思を確認している（ACP）	153	7.2	16.3	28.8	28.8	19.0	2.6
10. 本人が意思を表出できないときに、代 理人を決めている	154	46.8	30.5	16.2	3.9	2.6	4.1
11. 本人が参加できないので、家族や代理 人と本人の意思を推測している	154	42.9	36.4	19.5	1.3	0.0	4.2

* 身体拘束について、2025 年 4 月から 6 月までの 3 か月間の実施（n = 156 施設）

	実施施設数	回答施設に占める 比率（%）	実施施設における 平均実施件数 （100 床換算）
身体拘束の実施	97	62. 2	22

* 身体拘束の主な理由（複数回答可）（n = 96 施設）

	施設数	比率（%）
1. 経鼻栄養等チューブトラブル防止	87	90. 6
2. 転倒・転落防止	54	56. 3
3. その他	40	41. 7

* 「3. その他」：異食行為（不潔行為）防止

自傷行為防止

掻きむしり予防

点滴抜去予防

尿道留置カテーテル自己抜去予防 など

10. 2025 年 5 月に請求したリハビリテーションに関する特別診療費の取得状況について（n=156 施設）

	算定 施設数	回答施設に 占める 比率（％）	算定施設における 件数（平均） （100 床換算）	算定施設における 延べ回数（平均） （100 床換算）
1. a. 理学療法	125	80. 1	77	661
b. 理学減算	82	52. 6	33	297
2. a. 作業療法	89	57. 1	77	485
b. 作業減算	56	35. 9	30	205
3. a. 言語聴覚療法	60	38. 5	45	438
b. 言語聴覚減算	37	23. 7	20	164
4. 集団コミュニケーション療法	2	1. 3	74	336
5. 摂食機能療法	64	41. 0	30	152
6. 短期集中リハビリテーション	75	48. 1	15	199
7. 認知症短期集中リハビリテーション	17	10. 9	17	81
8. 精神科作業療法	7	4. 5	56	343
9. 認知症入所精神療法	2	1. 3	19	58

1 1. 医療行為等の現状・実施について、2025 年 4 月から 6 月までの 3 か月間に実施した件数（1）

回答施設数：全体 156 施設（Ⅰ型 110 施設、Ⅱ型 44 施設、混合型 2 施設）

	上段：実施している施設の比率（％）			
	下段：実施例数の平均（100 床換算）			
	全体	Ⅰ型	Ⅱ型	混合型
1. 他院外来受診数	69.9	69.1	70.5	100.0
	11	9	17	9
2. 他病棟、他病院への緊急入院もしくは救急搬送数	41.7	39.1	45.5	100.0
	4	5	4	3
3. 末期がん患者の受け入れ	26.3	28.2	22.7	0.0
	4	4	4	—
4. 抗生剤末梢点滴治療（肺炎、尿路感染等）	80.8	80.9	79.5	100.0
	20	21	17	22
5. 脱水・熱中症等に対する末梢補液点滴治療	59.0	58.2	59.1	100.0
	17	18	14	40
6. 中心静脈ライン	26.9	33.6	9.1	50.0
	10	10	14	7
7. その他点滴治療	62.8	67.3	52.3	50.0
	28	28	25	19
8. インスリン投与	64.7	69.1	52.3	100.0
	7	5	10	8
9. 褥瘡・創傷治療（デブリ、持続吸引等）	68.6	71.8	59.1	100.0
	12	11	14	12
10. 酸素投与	86.5	87.3	84.1	100.0
	16	16	15	8
11. 気管切開のケア	16.7	18.2	13.6	0.0
	4	4	5	—
12. 経鼻経管、胃ろうによる栄養投与・交換	90.4	90.9	88.6	100.0
	45	47	40	19
13. 歯科治療	69.9	70.0	68.2	100.0
	30	29	32	5
14. 持続モニター	66.0	79.1	31.8	100.0
	14	14	13	4
15. 膀胱カテーテル管理	83.3	85.5	77.3	100.0
	21	20	22	15

12. 医療行為等の現状・実施について、2025 年 4 月から 6 月までの 3 か月間に実施した件数（2）

回答施設数：全体 156 施設（Ⅰ型 110 施設、Ⅱ型 44 施設、混合型 2 施設）

	上段：実施している施設の比率（％）			
	下段：実施例数の平均（100 床換算）			
	全体	Ⅰ型	Ⅱ型	混合型
16. 人工肛門管理	35.9	34.5	38.6	50.0
	4	3	7	2
17. 麻薬による疼痛ケア	9.6	9.1	11.4	0.0
	3	2	5	—
18. 抗がん剤投与（経口、点滴含む）	10.3	9.1	13.6	0.0
	2	1	2	—
19. 新型コロナ治療薬	5.8	6.4	4.5	0.0
	6	7	2	—
20. 単純レントゲン撮影、透視	85.3	86.4	81.8	100.0
	54	62	34	62
21. 超音波検査、内視鏡検査	26.9	25.5	29.5	50.0
	7	6	8	6
22. CT scan MRI	63.5	69.1	47.7	100.0
	26	28	17	33
23. 血液検査	87.2	86.4	88.6	100.0
	99	99	100	116
24. その他	7.7	10.0	2.3	0.0
	8	7	13	—

13. 現場で苦勞していることがらについて（複数回答）（n=155 施設）

	施設数	比率（％）
1. 生活施設としての環境整備	68	43.9
2. 自宅としての入所者への対応	39	25.2
3. 身体拘束ゼロ対策	82	52.9
4. 介護保険書類の煩雑さ	53	34.2
5. 事故届け出の基準、書類の煩雑さ	15	9.7
6. 看護師確保	88	56.8
7. 介護職確保	117	75.5
8. ケアマネジャー確保	28	18.1
9. 医師確保	16	10.3
10. 入所者確保	48	31.0
11. 介護職処遇改善加算に関して	20	12.9
12. 医療行為がやりにくい	11	7.1
13. 急性期への転院希望がある	9	5.8
14. ターミナルの意識	28	18.1
15. 利用者・家族の介護医療院への理解	37	23.9
16. 地域との交流・地域貢献	69	44.5
17. その他	6	3.9

1 4. 介護職員の処遇改善について

(1) 介護職員の処遇改善加算は、下記のうちどれを取得していますか。(n=156 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅰ)	82	52.6
2. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅱ)	26	16.7
3. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅲ)	17	10.9
4. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅳ)	18	11.5
5. 介護職員等処遇改善加算 (Ⅴ) 経過措置区分	2	1.3
6. 加算の取得はなし	11	7.1

(2) 上記 (1) でいずれかの加算の支給を受けている事業所にお伺いします。

介護施設ではない併設病院病床の看護助手、介護職員に対する処遇改善について、
該当するものはどれですか。(n=132 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 診療報酬のベースアップ評価料を支給する	57	43.2
2. ベースアップ評価料に病院持ち出し分を追加して支給する	60	45.5
3. 病院は併設されていない	9	6.8
4. その他	6	4.5

15. 介護医療院に看護師特定行為研修の修了者は在籍していますか（n=155 施設）

	施設数	比率（％）
1. 在籍している	10	6.5
2. 在籍していない	145	93.5

16. 介護医療院の直接の管理者の職種について（複数回答）（n=155 施設）

※届出上の管理者ではなく、勤務表の作成等を行う現場の管理者

	施設数	比率（％）
1. 医師	29	18.7
2. 特定行為研修を修了した看護師	2	1.3
3. 認定もしくは専門看護師	4	2.6
4. 上記以外の看護師	108	69.7
5. 介護福祉士	23	14.8
6. その他	12	7.7

17. 介護職不足について

(1) 介護職は充足していますか。(n=156 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 充足している	26	16.7
2. ギリギリである	73	46.8
3. 不足している	57	36.5

(2) 介護職員・看護職員に外国人を採用していますか。(n=154 施設)

	施設数	比率 (%)
1. 外国人を採用している	77	50.0
2. 外国人を採用していない	66	42.9
3. 外国人を採用する予定はある・採用を考えている	11	7.1

* 採用している外国人の看護職・介護職の人数

	人数	
看護職	9	6 施設
介護職	501	76 施設

* 採用している外国人（看護職）の国籍（複数回答）(n=6 施設)

国籍	施設数	比率 (%)
1. フィリピン	1	16.7
2. ベトナム	2	33.3
3. ミャンマー	0	0.0
4. インドネシア	1	16.7
5. 中国	1	16.7
6. その他	3	50.0

* 採用している外国人（介護職）の国籍（複数回答）(n=75 施設)

国籍	施設数	比率 (%)
1. フィリピン	22	29.3
2. ベトナム	22	29.3
3. ミャンマー	23	30.7
4. インドネシア	23	30.7
5. 中国	10	13.3
6. その他	16	21.3

* 採用している外国人の在留資格

	人数	比率 (%)
1. 医療（看護師）	14	2.7
2. 介護（介護福祉士資格所有）	96	18.4
3. 技能実習	119	22.8
4. 特定技能	151	28.9
5. 特定活動（EPA 看護師候補者）	30	5.7
6. 特定活動（EPA 介護福祉士候補者）	31	5.9
7. その他	81	15.5
計	522	100.0

* 「7. その他」：永住者、留学、家族滞在、介護職員、看護助手、日本国籍、日本人の配偶者

18. 総合的な評価

(1) 介護医療院への移行（開設）は収益上よかったですか。（n=154 施設）

（施設数）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	154	109	43	2
1. 移行前より収益が増えた	76	52	24	0
2. 変わらない	34	28	5	1
3. 移行前より収益が減った	31	23	7	1
4. わからない	13	6	7	0

比率（％）

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	154	109	43	2
1. 移行前より収益が増えた	49.4	47.7	55.8	0.0
2. 変わらない	22.1	25.7	11.6	50.0
3. 移行前より収益が減った	20.1	21.1	16.3	50.0
4. わからない	8.4	5.5	16.3	0.0

(2) 介護医療院単独での経営状況はいかがでしょう。（n=154 施設）

（施設数）

	全体	I 型	II 型	うち、単独	混合型
回答施設数	154	108	44	4	2
1. 介護医療院単独では黒字である	59	43	15	1	1
2. 介護医療院単独では赤字である	42	29	13	2	0
3. どちらともいえない	53	36	16	1	1
4. その他	0	0	0	0	0

比率（％）

	全体	I 型	II 型	うち、単独	混合型
回答施設数	154	108	44	4	2
1. 介護医療院単独では黒字である	38.3	39.8	34.1	25.0	50.0
2. 介護医療院単独では赤字である	27.3	26.9	29.5	50.0	0.0
3. どちらともいえない	34.4	33.3	36.4	25.0	50.0
4. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 経営状態と平均要介護度、稼働率

全体	黒字	赤字
回答施設数	58	42
入所者数（人）	4,556	2,428
療養床数（床）	4,913	2,780
稼働率（％）	92.7	87.3
平均要介護度	4.29	4.22

I 型	黒字	赤字
回答施設数	43	29
入所者数（人）	3,801	1,802
療養床数（床）	4,082	2,101
稼働率（％）	93.1	85.8
平均要介護度	4.32	4.36

Ⅱ 型	黒字	赤字
回答施設数	15	13
入所者数（人）	755	626
療養床数（床）	831	679
稼働率（％）	90.9	92.2
平均要介護度	4.10	3.83

(4) 介護医療院の開設は貴法人にとって総合的によかったですか。(n=156 施設)

(施設数)

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	156	110	44	2
1. よかった	104	76	26	2
2. 変わらない	14	12	2	0
3. 悪かった	5	3	2	0
4. わからない	33	19	14	0

比率 (%)

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	156	110	44	2
1. よかった	66.7	69.1	59.1	100.0
2. 変わらない	9.0	10.9	4.5	0.0
3. 悪かった	3.2	2.7	4.5	0.0
4. わからない	21.2	17.3	31.8	0.0

(5) 上記(4)の回答にかかわらず、介護医療院を開設して「よかった」と思われること

(複数回答)(n=149施設)

(施設数)

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	149	105	42	2
1. 収益が増加した	40	26	14	0
2. 医療区分1の利用者の居場所ができた	57	43	13	1
3. 老健より医療行為がしやすい	32	23	8	1
4. 施設の将来像が見えた	16	10	6	0
5. 住まいとしての環境があるのがよい	36	27	9	0
6. 職員のモチベーションが上がった	7	7	0	0
7. 利用者のプライバシーが確保できた	20	15	5	0
8. 身体拘束をしないようになった	16	12	3	1
9. 介護療養病床・経過措置が廃止になる心配がなくなった	50	40	10	0
10. 助成金で改修、新築ができた	27	22	5	0
11. 移行支援加算がもらえた	50	38	11	1
12. 地域との交流、地域貢献ができた	9	5	4	0
13. 介護施設にも病院にも入ることができない方々の最後の砦となっている	104	74	29	1

比率(%)

	全体	I 型	II 型	混合型
回答施設数	149	105	42	2
1. 収益が増加した	26.8	24.8	33.3	0.0
2. 医療区分1の利用者の居場所ができた	38.3	41.0	31.0	50.0
3. 老健より医療行為がしやすい	21.5	21.9	19.0	50.0
4. 施設の将来像が見えた	10.7	9.5	14.3	0.0
5. 住まいとしての環境があるのがよい	24.2	25.7	21.4	0.0
6. 職員のモチベーションが上がった	4.7	6.7	0.0	0.0
7. 利用者のプライバシーが確保できた	13.4	14.3	11.9	0.0
8. 身体拘束をしないようになった	10.7	11.4	7.1	50.0
9. 介護療養病床・経過措置が廃止になる心配がなくなった	33.6	38.1	23.8	0.0
10. 助成金で改修、新築ができた	18.1	21.0	11.9	0.0
11. 移行支援加算がもらえた	33.6	36.2	26.2	50.0
12. 地域との交流、地域貢献ができた	6.0	4.8	9.5	0.0
13. 介護施設にも病院にも入ることができない方々の最後の砦となっている	69.8	70.5	69.0	50.0